

令和5年度事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

世界的な影響を与えた新型コロナウイルス感染症については、昨年5月に感染症法上の格付けが2類から5類に移行し、社会経済活動や生活様式にもコロナ禍前に戻り、明るい兆しが見えてきました。

当センターにおいてもコロナ禍により、自粛していた独自事業の実施や、会員の親睦を図る互助会主催の日帰り旅行、新春の集いなど様々なイベントを開催し、本来の事業活動に戻ってきましたが、一方では、夏期の猛暑により会員の体調を考慮し、一日の作業時間の制限を余儀なくされ、作業が後ろ倒しとなったことから、多少なりとも受注に影響がありました。

そのような状況において、買い物支援移動販売や認知症カフェなどの独自事業を含めた、本年度の就業実績に係る請負事業の契約については、主に屋内清掃や防草シート設置作業等の就業が増となりましたが、店頭販売・レジの受注中止や選挙看板設置の受注減による就業減が大きく、前年度比較した契約金額でみると、394千円(0.9%)の若干減額となりました。

さらに、労働者派遣事業及び職業紹介事業においても就業会員の減により契約金額が減額となり、このことから、令和5年度の3事業(請負事業、派遣事業、職業紹介事業)合わせての契約金額は57,101千円となり、前年度比1,821千円(3.1%)の減額となりました。

請負事業における受託収益を内訳別にみると、昨年10月から導入されたインボイス制度により、シルバー人材センターが新たに納税対象となった配分金に対する消費税相当分(2%)を、当センターでは就業基準単価に加味しており、その消費税相当分を事務費に振り分けたことにより、事務費総額は前年度比567千円(17.5%)の増額、会員が受け取る実質の配分金については前年度より1,355千円(4.6%)の減額となりました。また、材料費については、防草シートの購入増や資材費の高騰などにより前年度比231千円(2.6%)の増額となりました。

派遣事業については、介護施設やホテルの調理補助など会員の就業中止に伴う就業延人数の減により、契約金額が前年度比1,158千円(10.4%)の減額となり、職業紹介事業についても、就業先に変更がないものの、就業中止による就業延人数の減により、契約金額が前年度比269千円(7.1%)の減額となりました。

会員数は加齢等による14名の退会者に対し入会者が23名となり、前年度比9名増の142名と、平成25年に公益社団法人へ移行してから最も多い会員数となりました。

今後とも、会員の入会促進に取り組むとともに、シルバー人材センターの安

定的な事業の運営や、新たな就業拡大を目指し、会員が楽しくやりがいを感じる事業を提供できるよう、さらに会員が活躍できるよう努めます。

以下、事業概要について報告します。

1 請負事業

雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業機会の提供

① 契約金額	43,581千円	(前年度	43,975千円)
┌ 公共	15,923千円	(前年度	16,634千円)
├ 民間事業所	12,630千円	(前年度	13,844千円)
└ 一般家庭	15,028千円	(前年度	13,497千円)
② 受注件数	2,502件	(前年度	2,420件)
③ 就業延人数	9,794人	(前年度	9,657人)
④ 配分金	30,724千円	(前年度	31,914千円)

※ 買い物支援移動販売や認知症カフェなどの独自事業を含む。

2 労働者派遣事業

雇用による適正就業機会の提供

① 契約金額	10,023千円	(前年度	11,181千円)
② 受注件数	13件	(前年度	13件)
③ 就業延人数	1,827人	(前年度	2,029人)
④ 賃金	7,819千円	(前年度	8,665千円)

3 職業紹介事業

臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る雇用に限る

① 契約金額	3,497千円	(前年度	3,766千円)
② 受注件数	2件	(前年度	2件)
③ 就業延人数	831人	(前年度	1,011人)
④ 賃金	3,150千円	(前年度	3,391千円)

4 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会を行いました。

① 草刈り班安全講習会	令和5年	4月14日(金)	15名
② 草刈り機作業スタッフ県講習会	令和5年	7月11日(火)	1名
③ 薬剤散布勉強会	令和5年	6月9日(金)	4名
	令和6年	2月2日(金)	4名
④ 墓掃除勉強会	令和5年	7月31日(月)	5名
⑤ 清掃スタッフ県講習会	令和5年	10月12日・13日(木・金)	5名

⑥ 安全運転技能県講習会

令和5年11月2日・4日・16日

(木・土・木)

4名

5 安全適正就業の推進

会員の安全確保及び事故防止は最優先事項として事業を実施、推進しました。

① 安全就業担当による安全パトロールの実施（剪定）

② 安全適正就業委員会を2回開催し安全就業の徹底を周知。

③ 安全作業マニュアルを作成

④ 障害事故、賠償事故等発生件数 () 前年度実績

	障害事故		賠償事故	
	事故件数	保険適用件数	事故件数	保険適用件数
令和5年度	2 (1)	1 (—)	6 (4)	5 (3)

上記の他に車両物損事故1件

6 会員数の動向

	令和5年度	平成4年度
事業年度末会員数	142	133
(内男性会員数)	(85)	(81)
(内女性会員数)	(57)	(52)
新入会員数	23	16
退会会員数	14	16

7 情報収集提供

① 入会希望者に対し随時説明会を開催し、シルバー人材センターの特徴特色及び仕組み等を説明。希望職種、経験等を聞き対応した。

② ホームページによる情報提供。

③ 新聞折込みチラシに求人情報を掲載し、新規入会者の勧誘をPRした。多いに成果があった。

④ 町広報及び当センター「シルバーだより」で事業等情報提供をした。

⑤ 新規入会員の勧誘を「ロコミ作戦」により役員及び会員へお願いした。

⑥ 剪定受注者への依頼、案内送付（令和5年2月）：() 前年度実績

送付件数	受注件数
92 (91)	99 (99)

⑦ 雪吊受注者への依頼、案内送付（令和5年9月）

送付件数	受注件数
17 (23)	21 (18)

⑧ 薬剤散布受注者への依頼、案内送付（令和5年1月）

送付件数	受注件数	
春夏一括案内 291 (305)	春(R5年2月～3月)	220 (217)
	夏(R5年6月～7月)	311 (297)

8 社会参加活動の推進

- ・地域社会への奉仕活動として清掃、草刈り等ボランティア活動「シルバーの日」を10月7日に設定し、会員78名参加のもと、朝日商業開発アスカ駐車場及びらくち～の駐車場周辺の清掃、草刈等活動を実施しました。

9 諸会議の開催及び事務局機能の充実

- ・定時総会は、令和2年度より新型コロナウイルス感染拡大対策を受け、書面議決による開催としていましたが、本年度は3年ぶりに全会員を対象にアゼリアホールにて開催し、理事会は5回の開催とし、センターの効率的な維持管理と円滑な事業運営に努めました。

10 全国及び県連合会事業等への参加

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により中止となっていた、全国シルバー人材センター事業協会主催の中央研修や北信越ブロック協議会主催の会議が再開され、その出席に努め、また、富山県シルバー人材センター連合会主催の研修や講習にも積極的に参加し、職員の資質向上や当センターの事業推進に取り組んできました。

11 独自事業の推進

① 買い物支援移動販売事業 () 前年度実績

町補助金	1,670,000 円 (1,646,000 円)
実施内容	・町が所有する移動販売車を借用し、センターが保有する車と、2台で各地区を巡回して食料品等の販売を行う。 ・移動販売に併せて、高齢者の見守りや、商品を運搬できない買物弱者に運搬支援を行う。
実施体制	・主務員（販売兼ねる）1名 ・専属運転手1名 ・販売員2名・商品調達員1名

実施予定日及び地区

曜日	時間	場所	回数
火曜日（祝日の時は月曜日）	9：50～10：30	みんなの家	48
	10：45～12：30	笹川（5ヶ所）	
水曜日	9：50～11：10	大平（1）境（4）	50
	11：20～12：00	上横尾（1）	
金曜日	9：40～12：30	山崎（6）	48

② 認知症カフェ事業（オレンジカフェ・ほっとあいりす）（ ）前年度実績

町委託費	727,000 円（634,484 円）
実施日	毎月第一金曜日・1 回/月、午後 1：30～2：30
実施体制	12 回実施。指導員 2 名、給仕 4 名
利用者延人数	106 人（86 人）

③ 生きいき農園生産管理

- ・葉物・根物野菜を生産販売しました。

④ その他の事業

- ・ふれあいサロン＜アイリス＞の開放

各種団体及びサークル活動の拠点として、無料開放をしています。

利用者延人数 1,314 人

- ・古本の無料貸出し 12 冊
- ・門松造り 81 門/大中小
- ・刃物研ぎ 包丁等受注件数 74 本/37 件
- ・健康麻雀大会 令和 6 年 2 月 3 日（土）16 名